



渡辺ゆうじの市政報告

2025年12月議会
連絡先 館山市八幡 285-1
TEL : 090-6727-9304
メール y.watanabe.kyousan0715@gmail.com

《一般質問》

那古都市下水路溢水(いっすい)問題 地元住民「あれから30年…進まぬ改修」大雨のたびに大変！

那古都市下水路近隣地域の溢水状況について、「大雨の時に溢水する箇所がある」と地元の住民の方々からのお話を伺い溢水が生ずる要因や整備状況などについて質問しました。

答弁により明らかになったことは、「海から海岸通りの市道3016号線までの区間は、平成8年度から工事を行い完了しているものの、前述の工事開始から約30年を経過した現在でも、下水路の改修工事はあまり進んでいないのが現状。市道3016号線から上流の区間については未改修となっている部分が多く、下水路の整備については、他の大規模事業の進捗状況や財政状況などを踏まえ、判断していく方針。

また、溢水が生じる大きな要因は、水路の断面不足に加え、昨今の降雨量の増加や農地などの宅地化による貯水機能の低下により、雨水が短時間で排水路に流入するようになったことなどが考えられる」というものでした。

那古都市下水路の近隣地域は、大雨が降ると下水路溢水により、成人男性の膝下程度の深さまで冠水をしてしまいます。また、その状態が約30年間も続いているとのことです。
地元住民の方々の思いは切実で、早期の下水路整備と溢水解消が必要です。

渡辺ゆうじの議会の質問等は、スマホでいつでもみられます。

お気軽にQRコードでご覧ください。

日本共産党や館山市のHP（ホームページ）もどうぞ。

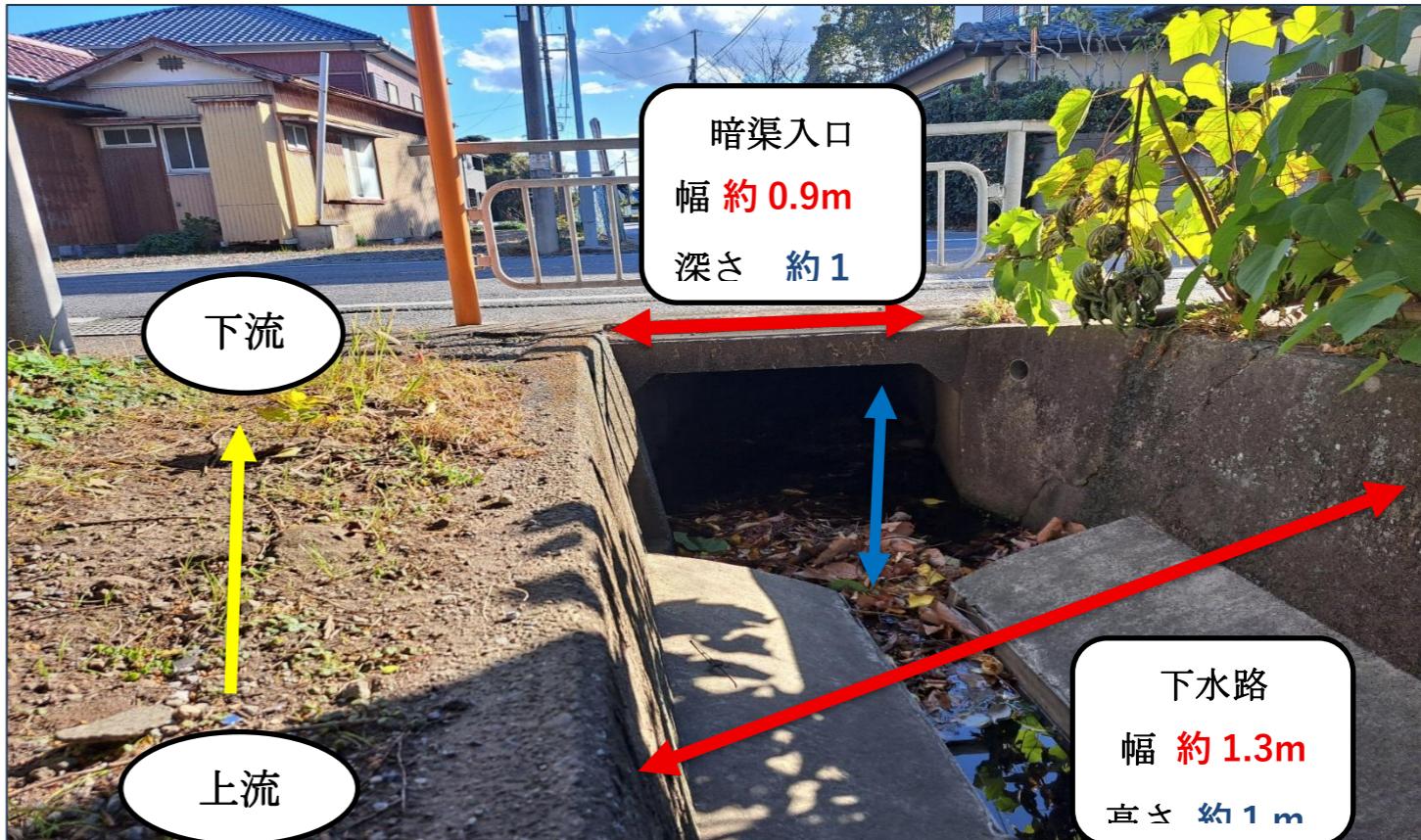
渡辺ゆうじ HP



日本共産党 HP



館山市 HP



写真①【撮影・測定 渡辺ゆうじ】※個人宅は画像を加工してあります。

上記の写真は、私が行政通告一般質問に備えて那古都市下水路を調査したものです。
私も土木や測量の専門家ではありませんから、正確とまでは言えないかもしれません、それでも「上流」から「下流」に向かって、下水路の幅が減少しているのが写真では見て取れます。

ちなみに、上流部と下流部の深さはあまり変わりありませんでしたので、大雨が降れば溢水（水が溢れること）してしまうのは道理だと思います。



辻地域の溢水写真です。

地元の住民のお話によると、「大雨になると、深さは成人男性の膝下程度に達してしまう。また、水も玄関の中まで浸水してしまい困っている」とのことでした。

写真②【提供：地元住民】

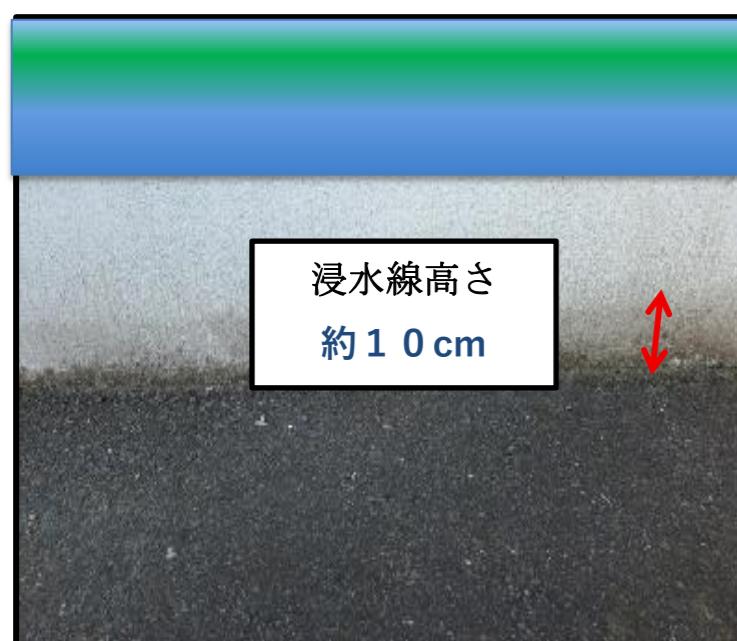
《請願》那古都市下水路の整備促進に関する請願採択！



写真③

【撮影・測定 渡辺ゆうじ】

上記は、写真①から下流に抜けたところの写真です。写真①では上流から下流に幅の減少が見て取れました。しかし、この場所では、「上流」と「下流」幅はあまり変わりませんでしたが、深さが上流側は深く、下流側は浅くなっています。いわゆる逆勾配のような構造になっていました。



※建物の特定を避けるため、画像を加工しています。

写真④ 【撮影・辺ゆうじ】

30年近くも放置された「那古都市下水路」の整備促進に関する請願が12月議会で採択されました。那古の辻地区の住民は雨の度に那古下水路からの溢水で市道は冠水し、また宅内までの浸水に長年にわたって悩まされてきました。そのたびに市担当課に連絡しても、なかなからちが明かない状態でした。このため、辻町内会長を代表に請願署名を市議会に提出しました。紹介議員には私と石井信重の両議員がなり、全会一致で請願は可決されました。

行政一般質問の録画中継

私は辻地区住民の方々と懇談し現地を調査してきました。その結果、館山市政上の重大な問題として12月市議会の行政一般質問で取り上げて市の所見や対応を質しました。およそ1時間の質問ですが、議場に出向かなくてもそのやり取りは公開(ユーチューブ)されています。また録画中継もされているのでスマホでも見ることができます。

◎議会質問の録画中継の見方は次の通りです。

「館山市議会」を検索⇒議会中継⇒令和7年第4回定例会2日目①(前半は鈴木ひとみ議員で渡辺ゆうじ議員はその次でおよそ1時間)

直接的な溢水原因と改善提案

那古都市下水路をはじめとした水路は下流域から整備するのが常道ですが、それだけにとどまらない特別の要因が辻地区の下水路にあることが質問のなかで明らかになってきました。さらにその被害は東藤地区にも広がっていることが確認されました。大きな問題点は、辻地区の下水路は暗渠になっていますが、これが開渠になる出口付近ですが、下水路の床下が下流域の方がかなり高くなっていることです。下水路で水の流れが悪いのは当然で、そのため下水路の断面が狭くなる構造的な欠陥があると市は答弁で認めました。また、辻地区の暗渠となる下水路の上流部では、県道側溝を通して周辺の雨水が一気に那古下水路に集中します。このため東藤山車小屋付近は日常的な浸水があるため土嚢を積んでいます。そこで県道側溝の雨水の排出先を国道127号線の排水路につなげるよう分散を検討すべきではないかと提案しました。

これに市は前向きの回答ではありませんでしたが、県道側溝の排水が現実に周辺に浸水をもたらしているのですから、市として県道事務所に提案し国道との接続を検討してもらうのはできないことではありません。今後の検討に期待したいと思います。

★3月議会一般質問予定日のお知らせ

3月2(月)、3(火)、4(水)の予定です。議会の傍聴にお越しください。